

## 施工説明書

(社団法人 日本水道協会 認証登録品)

### 梱包内容

・ノズル本体	1台
・ノズル本体カバー	1個
・ボルト取付板	1個
・ベースパッキン	1枚
・ねじセット① (六角穴付ボルトM4×8:2個、ねじパッキン2枚、 皿ねじM4×6:4個)	1セット
・M30ボルトセット (M30ボルト1個、M30用パッキン1枚、 M30用座金1個、M30ナット1個)	1セット
・M20ボルトセット (M20ボルト1個、M20用パッキン1枚、 M20用座金1個、M20ナット1個)	2セット
・コネクタケース組品 (十字穴付タッピンねじ(呼び3×8)2個、 コネクタケース1個)	1セット
・タンクケース(石けん、消毒)	1セット
・クランプ(WS-B3SN:薬液用2個) (WS-B3SNF:薬液用2個・エア用1個)	1組 1組
・ねじセット②(タッピンねじ3個、プラグ3個)	2セット
・ステントラスねじ(M4×6)	4個
・コイルチューブ	1個
・給水メッシュ	1個
・メッシュパッキン	1個
・鍵	2個
・火気厳禁ラベル	1枚
・取扱説明書	1冊
・施工説明書	本紙

### 別売オプション品

・混合水栓セット

### 目次

	ページ
安全上のご注意	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り付け上の注意事項</li> </ul>	
施工図	3
施工をされる前に	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り付けに必要な部材</li> <li>・壁への取り付けに必要な工具</li> </ul>	
取り付け方法	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面とスペースの確認</li> <li>・ノズルの取り付け</li> <li>・タンクケースの取り付け</li> <li>・給水管の接続</li> <li>・供給チューブの接続</li> <li>・センサーハーネスの接続</li> </ul>	
お問い合わせ窓口	裏表紙

お問い合わせ窓口

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8

TEL.06-6797-2525 URL.<http://www.saraya.com/>

電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00~18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

# 安全上のご注意

1

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。  
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。  
本施工説明書で不明な点は、当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）までご連絡ください。

## 表示の説明

## 図記号の説明

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷（※1）などに結びつく可能性があるもの	 絶対に行わないでください
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに傷害（※2）、または家屋・家財などの損害（※3）に結びつくもの	 必ず指示に従ってください

（※1）重傷とは、失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。

（※2）傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

（※3）損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

# 安全上のご注意

2

## 取り付け上の注意事項（続き）

### 警告



**設置場所により漏電ブレーカーの取り付けが必要。**  
取り付けられていないと感電の原因になります。お買い求めの販売店または専門業者にご依頼ください。



**換気が十分に行える場所に設置して換気する。**  
換気が不十分だと、揮発した薬液が充満して引火する危険性や気分が悪くなる場合があります。

### 注意



**配管接続部は確実に締め付ける。**  
取り付け上の不備があると、水漏れや液漏れの原因になります。

## 取り付け上の注意事項

### 警告



**仕様に定める規格に従い取り付け、使用する。**  
規格外での取り付け・使用は、ケガや事故・故障の原因になります。



**丈夫で凹凸のない壁面に確実に取り付け。**  
取り付け上の不備があると、落下によるケガや故障の原因になります。



**取り付け・移設は、必ずお買い求めの販売店または専門業者に依頼する。**  
取り付け上の不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



**湿気やほこりの多い場所には取り付けない。**  
感電や火災、故障の原因になります。



**気温が氷点下になる、低温の場所には取り付けない。**  
誤作動や変形、故障の原因になります。



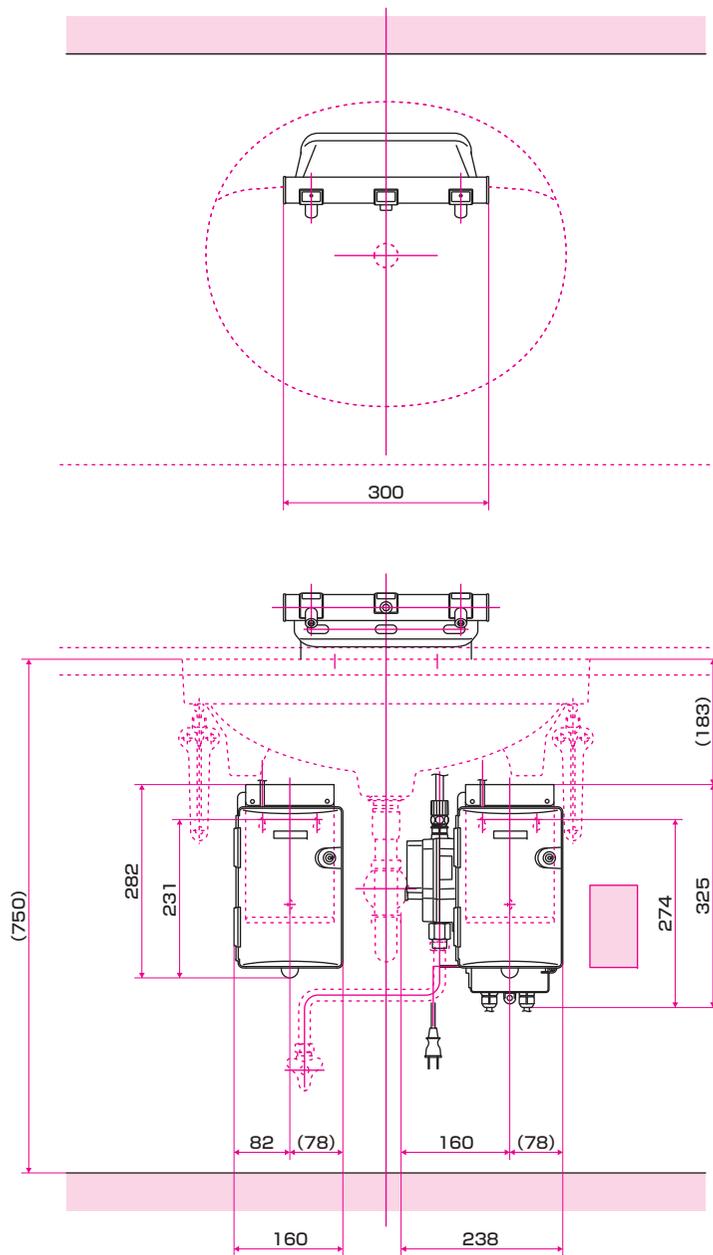
**火気や火花が出る器具の近くには取り付けない。**  
変形や故障、火災の原因になります。万一に備えて近くに消火器を設置してください。



**直射日光の当たる場所、高温になる場所には取り付けない。**  
誤作動や変形、火災の原因になります。

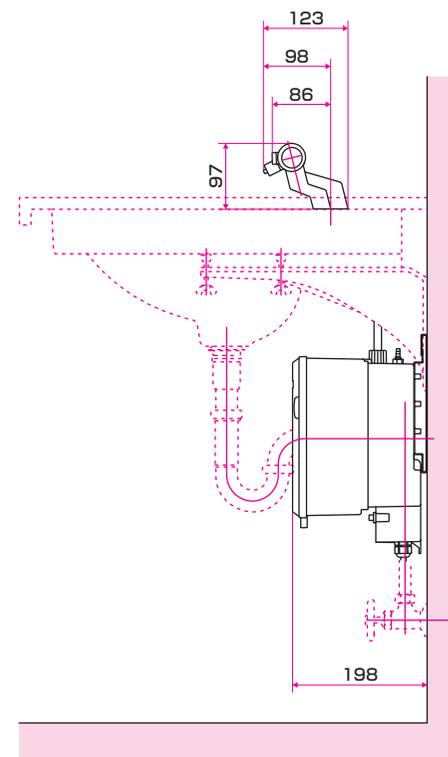


**油やガスの漏れる恐れのある場所には取り付けない。**  
万一、油やガスが漏れて製品の周囲に溜まると発火の原因になります。



注意

- 図は配管の一例です。
- 家庭用コンセント(電源AC100V)を近くに用意してください。





## 壁面とスペースの確認

施工図(3~5ページ参照)にもとづき、取り付けに適した場所を十分確認し、取り付け位置を決定します。

### 注意

- 丈夫な壁面に取り付けてください。
- 凹凸面には取り付けられません。
- 壁面がコンクリートの場合は、付属のねじセットで固定してください。
- 壁面が木製の場合は、補強材で補強してから、付属のタッピンねじで固定してください。
- その他、壁面の強度が弱い(コンパネ[6mm以下]石膏ボードなど)場合は、補強材で補強してからタッピンねじ、もしくはボードに適したねじで固定してください。
- 壁面に穴をあけるときは、他の配管・配線が通っていないことを確認してください。
- 切粉はきれいに取り除いてください。

## ノズルの取り付け

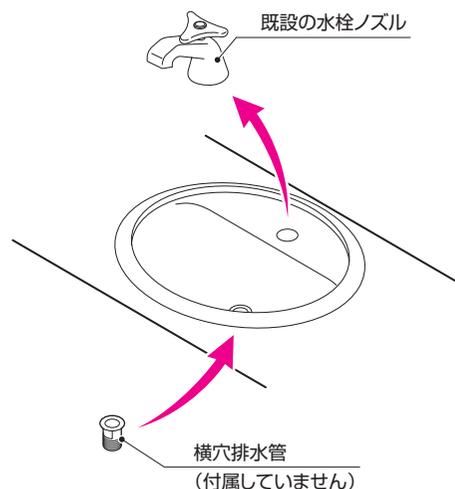
※説明書のイラストはWS-B3SNで説明しています。  
WS-B3SNFも同様に付けてください。

### [1] 既設水栓ノズルの取り外し

- ① 止水栓のハンドルを閉じます。
- ② ノズルのハンドルを開き、圧抜きと止水確認を行います。
- ③ 既設の水栓ノズルと、その他不要な部品を取り外します。

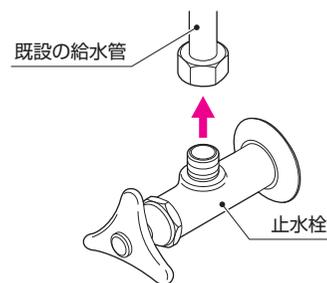
### 注意

- 手洗いシンクは取り外さないでください。
- 手洗いシンクやその他の必要な部分は、分解したり、壊したりしないように注意してください。
- 排水栓にポップアップが取り付けられている場合は取り外し、横穴排水管(付属していません)を取り付けてください。



### [2] 既設給水管の取り外し

止水栓から既設の給水管を取り付けます。



## [3] ノズル本体の取り付け

手洗いシンクの取り付け穴の形状に合わせて、ノズル本体の固定方法を以下の中から選定します。

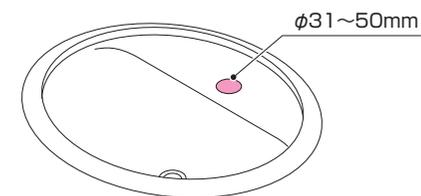
※以下の取り付け条件に当てはまらない場合は、現場にてご対応ください。

### A ノズル取り付け穴が1つ(中心)の場合

条件: 手洗いシンクの取り付け穴が1つで、その直径がφ31mm~50mm程度まで

次の部品を使用してください。

- ノズル本体(1台)
- ノズル本体カバー(1個)
- ボルト取付板(1個)
- ベースパッキン(1枚)
- ねじセット①(1セット)
- M30ボルトセット(1セット)

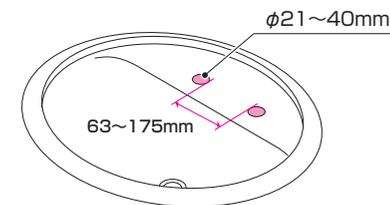


### B ノズル取り付け穴が2つの場合

条件: 手洗いシンクの取り付け穴が2つで、その直径がφ21mm~40mm程度まで  
取り付け穴間の内寸が63~175mm

次の部品を使用してください。

- ノズル本体(1台)
- ノズル本体カバー(1個)
- ボルト取付板(1個)
- ベースパッキン(1枚)
- ねじセット①(1セット)
- M20ボルトセット(2セット)



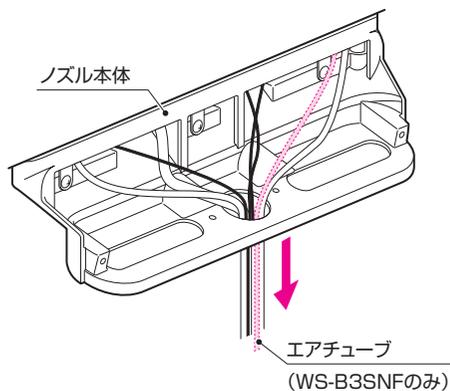
**A (取り付け穴が1つ) の取り付け方法**

①給水チューブ、薬液チューブ、手指センサーハーネスをノズル本体底面の中央の穴に通します。

※WS-B3SNFはエアチューブも通します。

**注意**

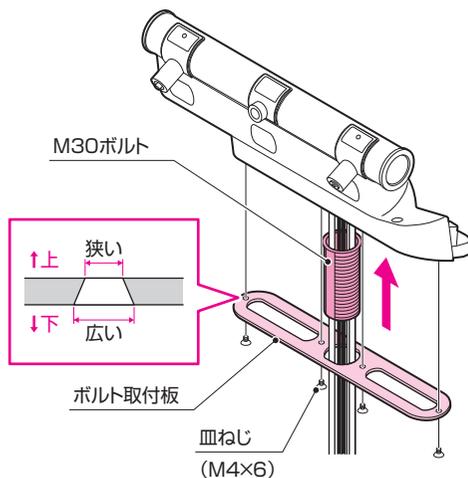
各工程にて、給水チューブと薬液チューブが折れ曲がったりしないように注意してください。



②各チューブと手指センサーハーネスをM30ボルトに通し、皿ねじM4×6 (4個) でボルト取付板を取り付けます。

**注意**

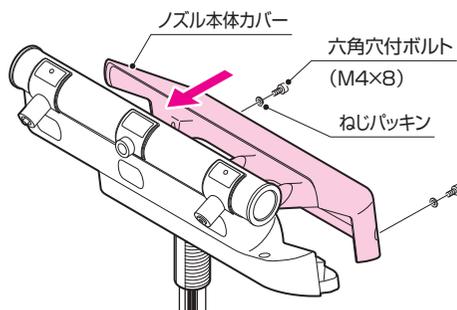
ボルト取付板には表裏があります。穴の広い面を下にしてください。



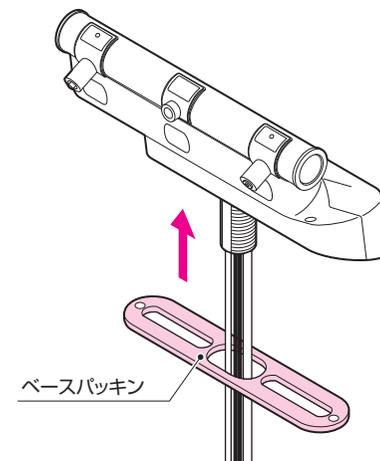
③六角穴付ボルトM4×8 (2個) で、ノズル本体カバーを取り付けます。

**注意**

- 六角穴付ボルトに、ねじパッキンを忘れず確実に取り付けてください。
- ノズル本体とノズル本体カバーの間に、各チューブと手指センサーハーネスを挟み込まないようにしてください。



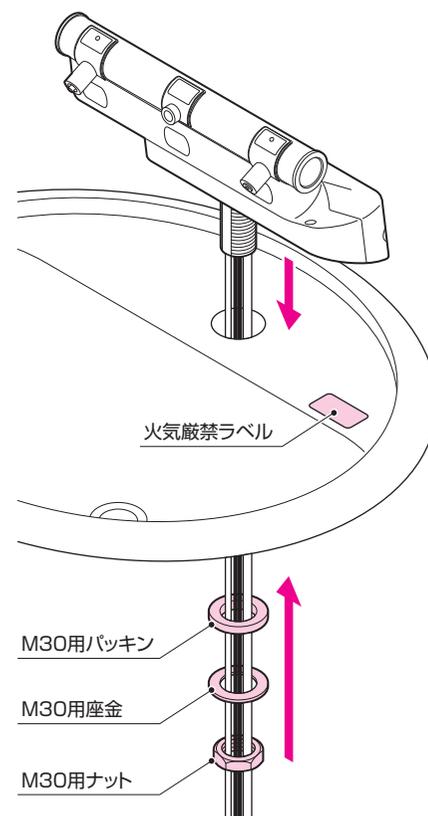
④ベースパッキンの剥離紙をはがし、ノズル本体底面に貼り付けます。



⑤手洗いシンクのノズル取り付け穴に各チューブ、手指センサーハーネスを通し、M30ボルト部分を差し込みます。

⑥M30用パッキンとM30用座金を通し、M30用ナットで固定します。

⑦消毒ノズルの近くに、火気厳禁ラベルを貼り付けます。



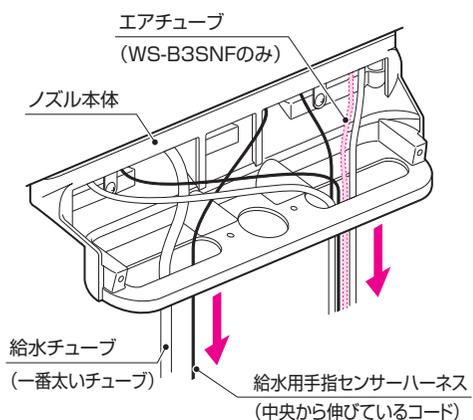
**B (取り付け穴が2つ) の取り付け方法**

①給水チューブと給水用手指センサーハーネスは(背面から見て)左の長穴に通し、その他の薬液チューブ、手指センサーハーネスは右の長穴に通します。

※WS-B3SNFはエアチューブも通します。

**注意**

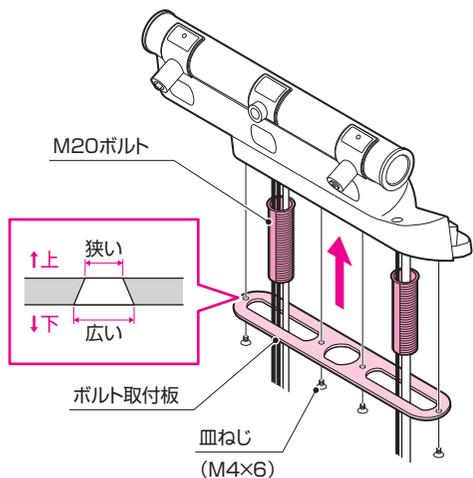
各工程にて、給水チューブと薬液チューブが折れ曲がったりしないように注意してください。



②各チューブと手指センサーハーネスをM20ボルトに通し、皿ねじM4×6 (4個) でボルト取付板を取り付けます。

**注意**

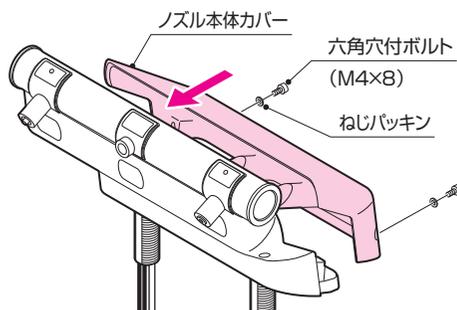
ボルト取付板には表裏があります。穴の広い面を下にしてください。



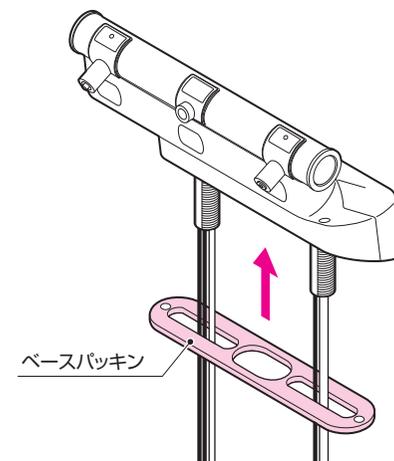
③六角穴付ボルトM4×8 (2個) で、ノズル本体カバーを取り付けます。

**注意**

- 六角穴付ボルトに、ねじパッキンを忘れず確実に取り付けてください。
- ノズル本体とノズル本体カバーの間に、各チューブと手指センサーハーネスを挟み込まないようにしてください。



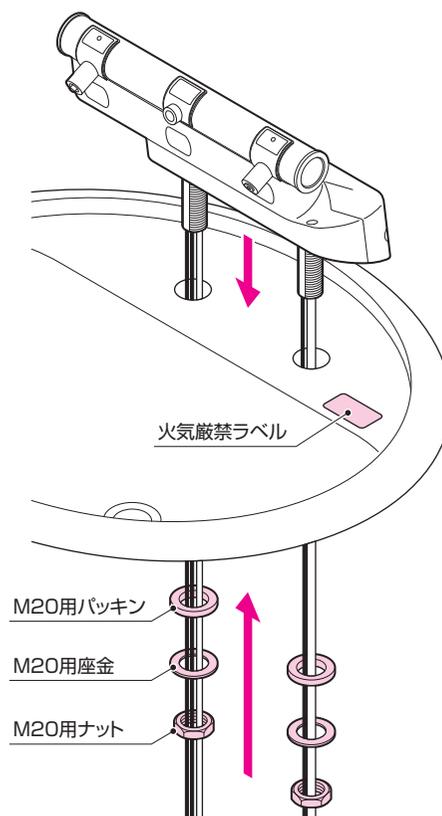
④ベースパッキンの剥離紙をはがし、ノズル本体底面に貼り付けます。



⑤手洗いシンクのノズル取り付け穴に各チューブ、手指センサーハーネスを通し、M20ボルト部分を差し込みます。

⑥M20用パッキンとM20用座金を通し、M20用ナットで固定します。

⑦消毒ノズルの近くに、火気厳禁ラベルを貼り付けます。

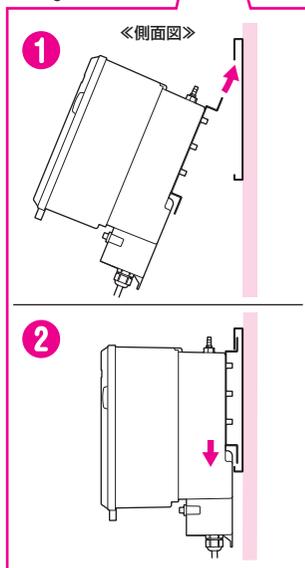
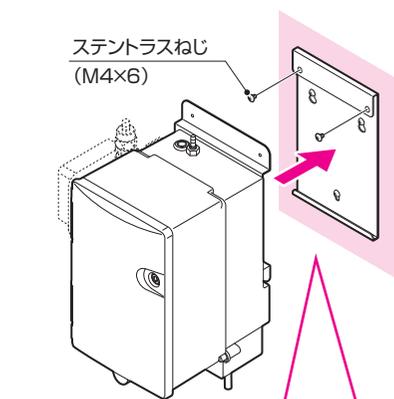
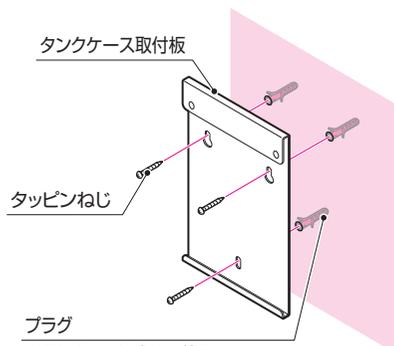


タンクケースの取り付け

- ①施工図(3~5ページ参照)にもとづき、各タンクケースの取り付け位置を決定します。
- ②タンクケース取付板に合わせて壁面に穴をあけ、付属のねじセット(タッピンねじ3個、プラグ3個)でタンクケース取付板を固定します。

注意

- 石けんタンクケース、消毒タンクケースの両方とも固定してください。
- タンクケース取付板は水平に固定してください。
- 壁面がコンクリートの場合は、振動ドリルなどで穴(φ6mm・深さ30mm~40mm)をあけ、プラグを打ち込み、タッピンねじで固定してください。
- 壁面が木製の場合は、案内穴(φ2.5mm)をあけてから、タッピンねじで固定してください。
- その他、壁面の強度が弱い(コンパネ[6mm以下]石膏ボードなど)場合は、補強材で補強してからタッピンねじ、もしくはボードに適したねじで固定してください。
- 壁面に穴をあけるときは、他の配管・配線が通っていないことを確認してください。
- 切粉はきれいに取り除いてください。



- ③まず、図①のように、タンクケースをタンクケース取付板に差し込みます。  
次に図②のように、下部も差し込みます。  
最後にスタントラスねじM4×6(2個)で固定します。

給水管の接続

【1】配管類の洗浄

給水元の配管類を十分に通水し、ゴミなどを洗い流します。

注意

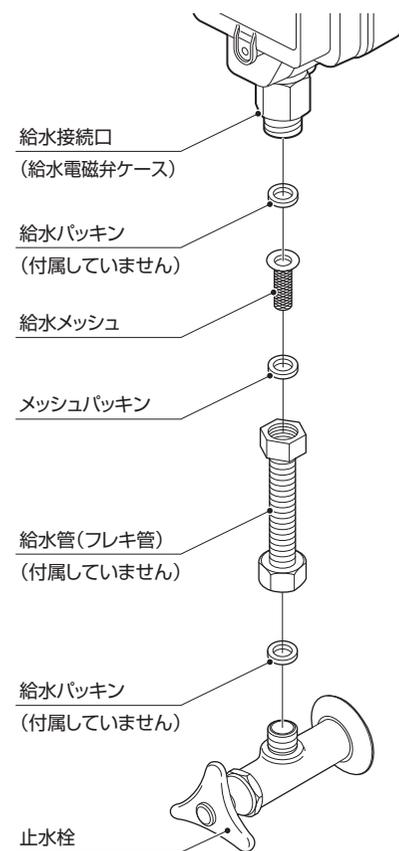
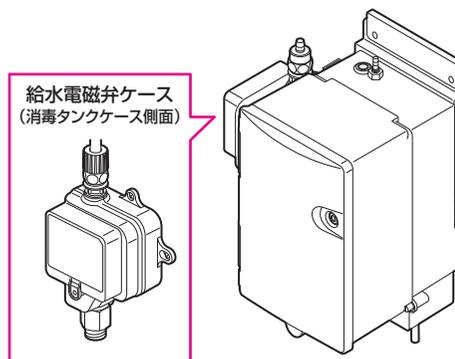
配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これらが混入すると給水メッシュが詰まり、「水の出が悪くなる」「異臭を放つ水が出る」といったトラブルの原因になります。

【2】給水管の接続

給水管(フレキ管)で、給水接続口(給水電磁弁ケース)と止水栓を接続します。

注意

- 給水メッシュは忘れず確実に取り付けてください。
- 各接続部分には給水パッキンを使用し、水漏れがないよう確実に取り付けてください。
- 給水管、給水パッキン、止水栓は付属していません。お客様側にてご用意ください。



供給チューブの接続

[1] 石けん液チューブの接続

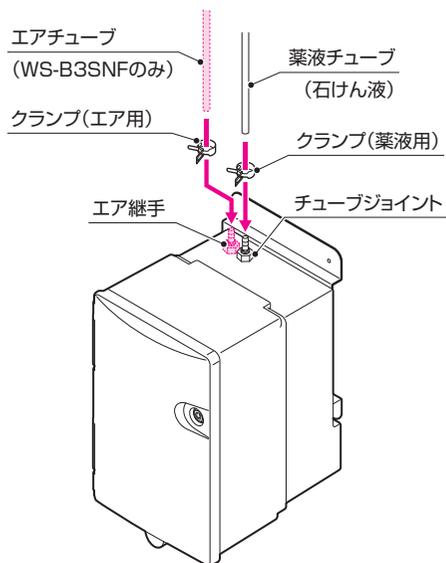
石けん液ノズルから伸びている薬液チューブ（石けん液）にクランプ（薬液用）を通してチューブジョイントに接続し、クランプを固定します。

※WS-B3SNFの場合は、エアチューブも接続してください。

エアチューブにクランプ（エア用）を通してエア継手に接続し、クランプを固定します。

注意

- チューブジョイント、エア継手内に異物が混入していないことを確認してください。
- 各チューブは適切な長さに切り、調節しながら接続してください。チューブは直角に切断してください。
- チューブは、断面が変形していない状態で、キズなどがない状態にしてください。

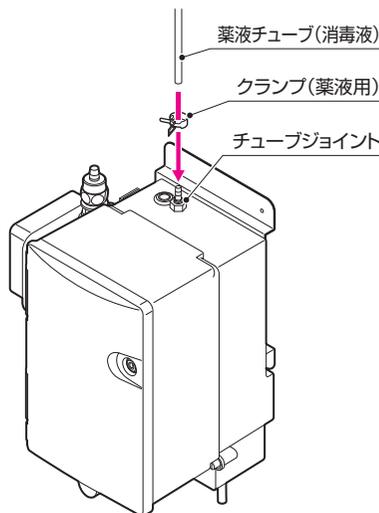


[2] 消毒液チューブの接続

消毒液ノズルから伸びている薬液チューブ（消毒液）にクランプ（薬液用）を通してチューブジョイントに接続し、クランプを固定します。

注意

- チューブジョイントに異物が混入していないことを確認してください。
- チューブは適切な長さに切り、調節しながら接続してください。チューブは直角に切断してください。
- チューブは、断面が変形していない状態で、キズなどがない状態にしてください。

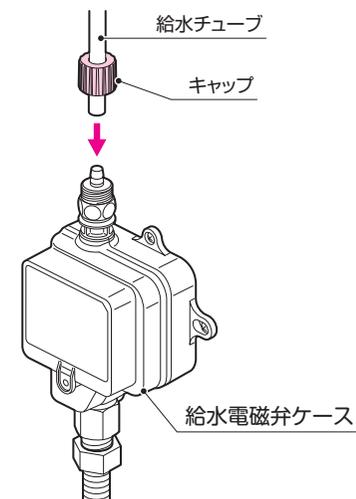


[3] 給水チューブの接続

給水チューブを給水電磁弁ケースに接続し、キャップを固定します。

注意

- 接続部に異物が混入していないことを確認してください。
- チューブは適切な長さに切り、調節しながら接続してください。チューブは直角に切断してください。
- チューブは、断面が変形していない状態で、キズなどがない状態にしてください。



センサーハーネスの接続

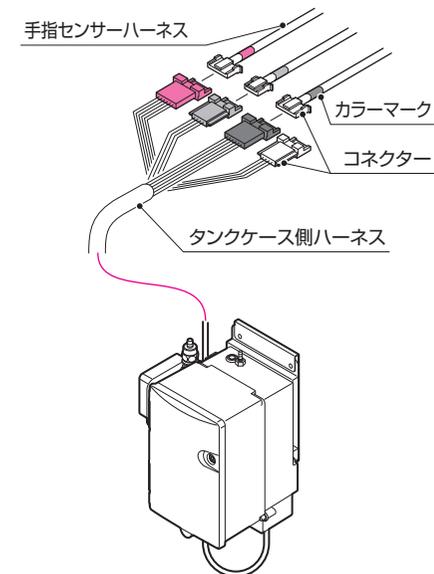
① 消毒タンクケース側ハーネスのコネクターと、各手指センサーハーネスのコネクターを接続します。

注意

- 手指センサーハーネスはカラーマークで色を指示しています。タンクケース側ハーネスのコネクターの色と同じ色のコネクター同士を接続してください。
- 白色のコネクターは使用しません。

手指センサーハーネスのカラーマーク

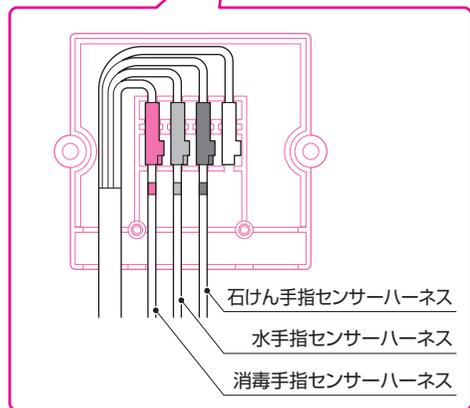
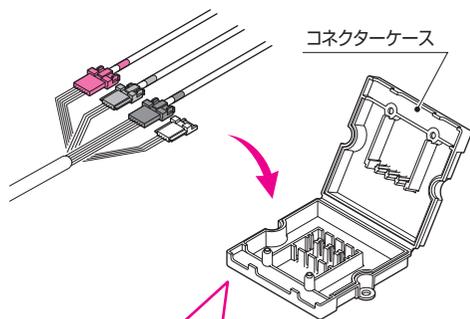
- 赤色 (■) …消毒手指センサーハーネス
- 青色 (■) …水手指センサーハーネス
- 緑色 (■) …石けん手指センサーハーネス



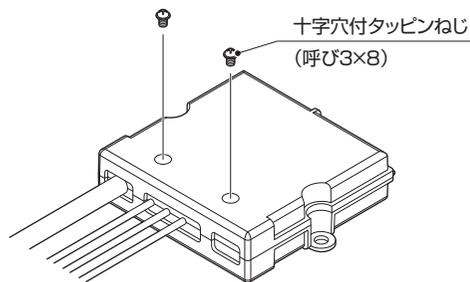
②コネクタケースにコネクタを収納します。

**注意**

白色のコネクタもコネクタケースに収納してください。



③コネクタケースを閉じ、十字穴付タッピンねじ  
呼び3×8 (2個) で固定します。



④ファスナーの剥離紙をはがして、平面で水のかから  
ない場所に貼り付けます。

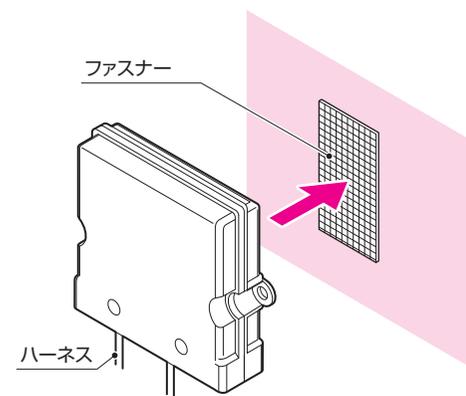
**注意**

- ファスナーを貼り付ける部分は、あらかじめ汚れなどをきれいに  
取り除いてください。
- コネクタケース側のファスナーに対して、十字に貼り  
付けると、設置許容範囲を広く確保できます。

⑤ファスナーにコネクタケースを取り付けます。

**注意**

ハーネスを下に向けて取り付けてください。



※付属のコイルチューブは、各チューブと手指センサーハーネスをまとめるためのものです。  
必要に応じて使用してください。

センサーの調整について

各センサーの感知距離は出荷時に適正値に調整しています。  
必要がない場合は絶対に触らないでください。  
ただし、取り付けのシンクの形状や種類によってはセンサーに影響がある可能性があります。  
このような場合は、以下のように感知距離の調整を行ってください。

- ①タンクケースの扉を開けます。
- ②薬液ボトルを取り出します。
- ③キャップを開けます。
- ④マイナスドライバーで、中の調整ボリュームを回します。  
右に回すと感知距離が長くなり、左に回すと短くなります。
- ⑤調整した各ノズルの動作を確認します。
- ⑥調整後、逆の手順で戻します。

**注意**

- 薬液ボトルの取り出しについては7~9ページ「薬液  
ボトルの交換または補充方法」を参照してください。
- 調整ボリュームは大きな力をかけると破損する  
恐れがあるので、マイナスドライバーで回す際は  
軽く回してください。
- 調整ボリュームの最大回転角度は約240度です。

